

ひめだ高宏ニュース

日本共産党 和歌山市会議員

No. 984
13.11.6

プロ野球・巨人 被災地励ます優勝

プロ野球の日本シリーズで、楽天が4勝3敗で初の日本一に。野村克也氏は監督時代に「勝ちに不思議の勝ちあり、負けに不思議の負けなし」とよく言っていました。野村一星野の監督リレーの妙みがいなものも感じました。

全生連「世界の生活保護」ドイツのパンフ

全国生活と健康を守る会連合会(全生連)が発行した「世界の生活保護」というパンフレット(A5版4頁・100円)には、スウェーデン、ドイツ、韓国、イギリス、フランスと日本

の生活保護制度を紹介しています。

大阪市立大学の木下秀雄教授によると、ドイツの生活保護は、15歳以上の未成年の稼働年齢層を対象とするものと65歳以上の高齢者

と重度障害者を対象とするものに分かれています。合わせて約300万人が利用しているとのこと。ドイツの人口は約8180万人で、人口の8.9%の人が利用しています。日本では、生活保護利用者が215万人を超え、過去最高になったと騒いでいますが、人口の1.68%に過ぎずドイツの状況に遠く及びません。それだけでなくドイツの場合、保護利用者のうちの65歳以上の高齢者は7%程度です。

ドイツの場合、高齢になつたとき最低生活保障を利用せざるを得なくなるのを防ぐために、基本的に年金で高齢期の生活



をまかなえるように工夫を凝らしているそうです。

こんにちは 日本共産党の ふじい健太郎 です。(その391)

暮らし破壊法案に反撃を

医療・介護・年金・子育てなど社会保障制度の「改悪」を年次計画で進める法案が国会に提出されました。名前は「持続可能な社会保障制度の確立を図るための改革推進法案」、略して「社会保障改革プログラム法案」。医療では、来年4月から70~74才の患者負担を1割から2割に、2017年度までに入院ベッド数の削減と入院時の負担増を、介護では2015年度から要支援を介護保険からはずす、特別養護老人ホームの入所は要介護度3以上に、年金では

支給額の減と支給開始年齢の引き上げを、保寿は株式会社の手入で利益を生む産業にかえていく、などです。国民にとっては暮らしを破壊する法案で、社会保障に關係する労働者・国民、運動団体の反撃が始まっています。消費税増税、解雇首切り自由化、原形にTPP推進、秘密保護法と憲法改悪など、それぞれ水が分野でのそれぞれの反撃が進められています。早くこそ水が一つの太い線につながる、大波を起す力となることを期待する今日この頃です。



ふじい健太郎 前県会議員

新テニスコート ほうらい荘跡地

取り組みの違いナゼ

プロポーザル方式は、主に業務の委託先や建築物の設計者を選定する際に、複数の者に目的物に対する企画を提案してもらい、その中から優水た提案を行った者を採択すること。プロポーザルとは「企画・提案」という意味。コンパ方式が「設計者」を選定するのに対し、プロポーザル方式は「設計者」を選定するとい

う違いがあるとのこと。
和歌山市では、つづじが丘テニスコートの指定管理業者選定と、ほうらい荘跡地利用の事業者をプロポーザル方式で募集しています。2つの募集要項を読み比べると、とても不思議です。つづじが丘テニスコートは、施設そのものを市が作り指定管理するには、管理運営経費（14年度は7296

万円、以降は6456万円）と光熱水費（同ノ660万円とノ350万円）から利用負担収入を差し引いた額が支払われます。
一方、ほうらい荘跡の方は、建物を取り壊し更地にした土地を年間6万6759円で貸し、そこに浴場と貸館機能を持った建物建てて市民に利用させる（有料）ことを条件にしています。委託料を出すような考えはないとのこと。

コンパちは 日本共産党

軍事のための秘密保護法

安倍自公政権が国会へ提出し、国家安全保障会議設置法案とともに成立をねらう秘密保護法案に対し、反対の世論が広がっています。

「我が国の安全保障に関する情報のうち特に秘匿することが必要であるものを」「保護する」と、法律の目的に「安全保障」が明記されました。まさに「軍事立法」です。秘匿の対象は防衛、外交などの行政情報の中から「行政機関の長」がその漏洩が「安全保障に著しい支障を与える」と指

定するものとなっているだけで、すべての行政情報に対象になります。国民にとっては何が「秘密」か、わからないのに情報を手に入らなくても共謀、教唆、扇動しただけでも罪に問われます。憲法で戦争を放棄した日本に、「軍事立法」は必要ありません。

行政、国、基準を引き下げず、保育所の責任を認可保育所をつくるべし
カクサン句

自動ではない
解消しなさい
待機児童



こども育子
小管館

日本共産党 カクサン部HPより 小管館育子

演劇「釈迦内極唄」

11月3日(水) 県民文化

会館小ホールで劇団希聖舞台の「釈迦内極唄」の公演があります。和歌山市出身の女優・有馬理恵さんが主演を演じます。この公演は和歌山合同法律事務所開設50周年記念として取り組み水ており入場料が3千円と通常の公演よりかなり安く なっています。

ぜひこの機会に 観劇を。

水上勉・作の舞台、釈迦内は、秋田県の花岡鉦山近くで死体焼き場の家業を引き継ぐことになった末娘・ふじ子（有馬理恵）の物語です。有馬さんは高松時代に浅利香津代主演の「釈迦内極唄」を見て演劇の道に入り、99年からふじ子を演じているとのこと。14時と19時の2回公演です。